

小学生最後の夏の自由研究も、昆虫飼育を  
中心にしました。今までアゲハチョウやカマ  
キリ、カブトムシやクワガタ類をたくさん飼  
育してきました。その中でお母さんと、「小  
さなペランダに食草を植えたら、本当に産卵  
に来てくれるのか？」と数年前からチャレンジ  
してきました。ナミアゲハはすぐに来てくれ  
ました。今年三年目にして、ついにアオス  
ジアゲハ、モンシロチョウ、ツマグロヒョウ  
モンが来てくれたのです。モンシロチョウは

六月にほくたちが知らないうちにスパーア  
リッサムで終齢幼虫にまで育ち、サナギにな  
ろうと両どいや外壁を歩いているところをネ  
ットゲージに入れて羽化するところを観察し  
ました。アオスジアゲハはお母さんが洗たく  
物を干しに行くとき昨日まで青々していた、ク  
スノキの若葉がボロボロで、下を見るとフン  
がいっぱいだったのので、探したら大きな終齢  
幼虫一匹を発見。枝ごとネットゲージで飼育  
しました。ツマグロヒョウモンもスミシで発

見して飼育しました。ナミアゲハも入れて今年の夏は四種類のチョウを飼育しました。どのチョウも羽化まで、ドキドキ、はらはらで羽化したての姿は、本当に美しく、感動です。わからない、心配な事があると本ヤネットです。調べたり昆虫館の方々に電話して教えてもらいました。こうしてお母さんと一緒に思いついて、苗木を植えてきたチャレンジは成功しました。しかし、こんなせまいベランダを見つけて産卵に来るぐらい食草は少ないのか？

もともと、もっと温かいところにいるはずのツマゲロヒョウモンが普通についていいのかと思います。本で調べていると「温暖化等です」と書いてありました。ぼくは学校でSDG5を学び今のぼくたちにできることを授業で考え、発表しました。そのことを思い出し、これから先もずっとチョウが普通に見られるように、いろんなチョウが見られるのはうれしいけれど生息場所が変化してエサの取り合いに足りないように行動していきこうと思いま

した。

ぼくは六年間、昆虫採集や飼育をしてきて  
ベランダの食草を切って幼虫にあげる時の食  
草の香りを知りました。死んでしまったリレ  
た時のシヨックや羽化して飛んでいく時のウ  
れしさときみしさがまざる複雑な感じはあり  
ますが本当にやってきてよかったと思います。

ぼくは、自然や自然科学にも興味があるの  
で、いろいろな事を勉強して中学生になっても  
もっと幅広く深く昆虫や植物と出会い、感じ  
ていきたいと思っています。